

第62回 山口県中学校春季体育大会 テニスの部 に関する確認事項

大会は、中体連主催大会です。県テニス協会主催大会(いわゆる「ジュニア大会」)ではありません。「授業の一環」であることを、各学校で事前に十分指導してください。自動販売機の生徒の使用は禁止とし、ゴミはすべて各自で持ち帰らせてください。また、会場での服装は、制服もしくはテニス用ウォームアップ・学校用ジャージとします。

【運営上に関すること】

- ・ 前大会の優勝校は、優勝カップを持参し、開会式で返還する。
○男子 団体:黒石中学校 シングルス:麻里布中学校 ダブルス:黒石中学校
○女子 団体:国府中学校 シングルス:大内中学校 ダブルス:附属山口中学校
- ・ すべての試合日に、監督者会議を行うので、各校1名(監督・外部指導者・引率者)は必ず参加する。監督者会議で天候の悪化による日程の変更など確認する場合がある。
- ・ 受付は各校ごとにまとめて行い、ボールと参加料を提出する。(ボール:ブリヂストン社の「XT-8」)

団体戦は、2球×3缶 と 個人戦は、出場数×2球入り1缶 (どちらも未開封)

- ・ 団体戦またはダブルスに参加している選手のシングルスも、可能な限り1日目に実施する。

【全試合に関すること】 ルール上の規定については「JTA TENNIS RULE BOOK 2015」の規定による。

- ・ 各校の代表者・中学生として恥ずかしくない試合態度で参加する。守れない選手については退場もあり得る。
- ・ 全試合セルフジャッジで実施する。試合進行上のジャッジ、ポイントコールは選手が責任をもって行う。ポイントコールはサービス前にサーバーが必ず行い、レシーバーはコールに同意を示す声(はい・OKなど)、またはジェスチャー(うなづく・手を挙げるなど)をしなければならない。
- ・ 外部からの助言・指導は一切認めない。守れない選手・監督・保護者には、退場もあり得る。
- ・ 試合前のウォームアップは、各選手サーブ4本とする。
- ・ 試合中は、通常テニスウェアと認められているものを着用する。(襟付き・袖付きのものとする。)
- ・ 休憩はセットブレイクルールによる。(第1ゲーム終了後の休憩はない)
- ・ 試合進行上の問題が起きた場合、以下の手続きのもとでレフェリー(審判)を呼ぶことができる。
 - 1 相手にレフェリー(審判)を呼ぶことを伝える。
 - 2 コート外の第3者に、レフェリー(審判)にコートに来てもらうように依頼する。この際、選手はコートを離れてはならない。第3者がいない場合のみ、相手に通告しコートを離れてもよい。
- ・ 今大会の全試合は、**6ゲーム先取 ノーアドバンテージ方式**とする。

(但し、個人戦順位決定戦については「4ゲーム先取 ノーアドバンテージ方式とする」)

【個人戦に関すること】

- ・ すべての試合をオーダーオブプレーで実施する。遅刻者にはペナルティを与える。さらには失格もあるので十分注意する。
- ・ 試合終了後、勝者は本部に結果を報告する。敗者は、試合で使ったボールを持ち帰る。

【団体戦に関すること】

- ・ 2シングルス1ダブルスの3ポイントで実施する。シングルスとダブルスは兼ねられない。また、1シングルス1ダブルス(計3名)で出場できる(2シングルスは不可)。なお、出場順位はフリーとする。
- ・ 3名で出場する場合のオーダーは、ダブルス、シングルス1で組むこと。結果が1勝1敗の時は取得ゲーム率を算出する。同率の場合は、ダブルス(組み替え可能)でのタイブレイクマッチ(7ポイント)で勝敗を決める。
- ・ 初戦は、全3ポイントの試合を行う。2戦目以降は、ポイント決定後、途中でも試合を打ち切る。
- ・ 試合は、ダブルス、シングルス1・2の順で行い、オーダー用紙は、試合前に本部に提出し確認を受ける。
- ・ 試合開始時に、監督・出場選手がネットをはさんで整列・挨拶をする。その後オーダー用紙の交換、対戦選手の確認を行う。試合終了後はネットをはさんで整列し、対戦結果確認後、挨拶をする。使用球は、団体戦の敗者チームが持ち帰る。
- ・ プログラムに記載された監督・コーチ(外部指導者は登録された者)と登録選手に限り、1コートにつき1名をベンチコーチとして認める。助言・指導はエンドチェンジの時のみとし、テニスにふさわしいスポーツウェア・テニスシューズとする。
- ・ 各対戦の勝者は、各対戦終了後すぐに本部に結果を報告する。